

# 歳入

## 【歳入の概要】

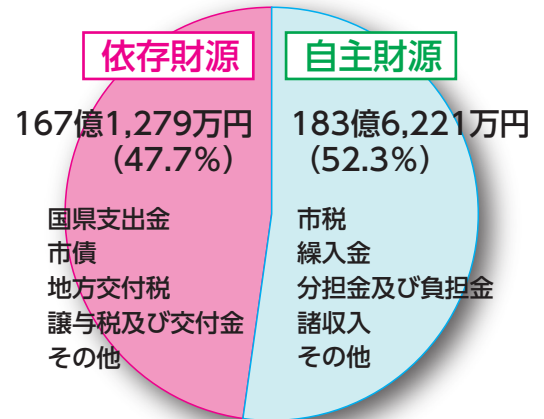
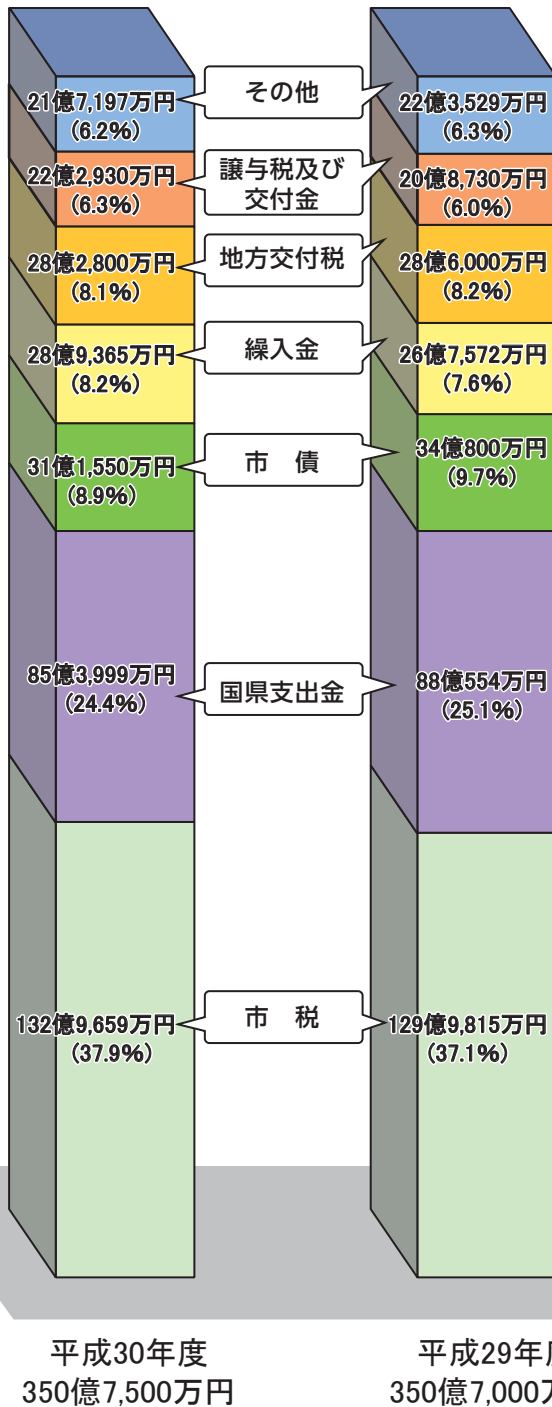
市税は、個人市民税において納税義務者の増加などによる増収や、固定資産税において評価替えに伴い近年の地価上昇を反映したことなどによる増収が見込まれるため、前年度と比べて約3億円の増となっています。

国県支出金は、学校施設整備費補助金や子ども・子育て支援整備交付金などが増加するものの、社会資本整備総合交付金や街路事業費補助金、福岡県地域密着型施設等整備補助金などの減少で、前年度と比べて約2億7千万円の減となっています。

市債は、史跡買上事業債や小学校校舎改造事業債などが増加するものの、歴史文化資産等保存施設整備事業債や街路事業債などの減少で、前年度と比べて約2億9千万円の減となっています。

繰入金は、財政調整基金繰入金などが減少するものの、公共施設整備基金繰入金や減債基金繰入金などの増加で、前年度と比べて約2億2千万円の増となっています。

歳入の構成は、自主財源が約183億6,221万円で52.3%、依存財源が約167億1,279万円で47.7%となっています。



### 用語解説

**市税** 市に納める税金のことです。大野城市では現在5税目(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税)があります。

**国県支出金** 特定の事業に対して、国や県から使い道を指定して交付されるお金です。

**地方交付税** 地方公共団体間の財源の不均衡を調整することによって、どの地域に住む人にも一定の行政サービスが受けられるよう、国税の一定割合の額を、国が地方公共団体に交付する交付金です。

**繰入金** 基金(貯金)や他会計からの収入のことです。

**市債** 道路・学校などの建設のための財源として活用するために、国や銀行などから資金を借り入れる長期の借入金のことです。ただし、国が地方交付税として配るお金が足りない分を、市が代わりに借り入れる借入金(臨時財政対策債)が、特例としてあります(臨時財政対策債の返済金は、全額後年度に地方交付税で補てんされます)。

**自主財源** 市が自らの権能に基づいて自主的に収入できる財源のことです。歳入総額に占める自主財源の比率が高いほど自主的な財政運営ができるといえます。

**依存財源** 収入のうち国や県などから配分される財源のことです。